

2025年11月19日（水） 聖書研究祈祷会 奨励 赤井博夫

題「失われた人」

聖書：ルカの福音書19章1節～10節

賛美：新聖歌 232 番

今日は有名なザアカイとイエス様の出会いのところから共に学んでいきたいと思います。イエス様が12人の弟子を連れてエルサレムへ上って行かれるところです。目の見えない人を癒されて、今日の1節に『それからイエスはエリコに入り、町の中を歩いておられた』とあります。

まずエリコと言う町を見ておきます。エルサレムまであと20Kmくらいです。ヨルダン川の西、死海の北でパレスチナ最古の町です。紀元前5000年頃から存在していたと言われています。交通の要衝で商業も盛んだったんじゃないでしょうか。

私もイスラエルに行った時、ここでナツメヤシの干したものや化粧水を買いました。今はパレスチナ自治区で、そんなにきれいな町ではないですが、ごちゃごちゃした中に古さを感じる町でした。

2節を見ますと、『するとそこに、ザアカイという名の人がいた。彼は取税人のかしらで、金持ちであった』とあります。

取税人は、当時イスラエルはローマ帝国の支配下にありました。ローマ帝国に代わって収入や財産、通行税などの様々な税金を取り立てる仕事をしていました。ローマに納める税額はあらかじめ定められており、それを超えて徴収した分が彼らの収入になりました。

ルカ15章1節に『さて、取税人たちや罪人たちがみな、話を聞こうとしてイエスの近くにやって来た』とあります。

ルカ19章3節『彼がイエスがどんな方か見ようとしたが、背が低かったので、群衆のために見ることはできなかった。』

4節『それで、先の方に走って行き、イエスを見ようとして、いちじく桑の木に登った。イエスがそこを通り過ぎようとしておられたからであった。』

いちじく桑はいちじくの種類ですが日本のいちじくとは少し違っています。ザアカイが登ったと言われる木を見ましたが、7～8m くらいの高さがあって、道端に植えると良い木陰を作ると言われるくらい葉が茂っています。

ですからザアカイはイエス様からも群衆からも隠れてイエス様を見ようとしたのではないのでしょうか。

しかしイエス様は5節で『ザアカイ、急いで降りて来なさい。』と、すかさず上を見上げて言われました。しかも『今日、あなたの家に泊まることにしている』と。エリコには多くの祭司が住んでいました。その中で民衆から蔑まれ、嫌われ、「罪人」と言われている取税人の家に泊まると言われたのです。

6節でザアカイはイエス様の言葉かけに即座に応じました。

7節で『人々はみな、これを見て、「あの人は罪人のところに行って客となった」と文句を言った。とあります。別の訳では『つぶやいた』となっています。「ザアカイ帰れ」とシュプレイコールのように大声で言うのではなく、あちこちで「なんであんな売国奴、罪人の家に泊まれるのか」と怒りにも似た声が上がったということです。

8節で『しかし、ザアカイは立ち上がり、主に言った。「主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返します。』』と言います。

ルカ18章23節をご覧ください。ある富んだ人に『あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに分けてやりなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。』と言われました。

この違いは明白です。ザアカイは命じられないのに行い、富んだ人は命じられたけどしなかった。

当時不正を行えば2割増しの罰金を科せられました。100円であれば120円です。4倍は400円です。財産を半分貧しい人たちに施します。

9節でザアカイのこの行為に対して『今日、救いがこの家に来しました。』と言われました。ザアカイだけでなくこの家族に来たと言われています。『主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます』という御言葉の成就です。また信仰の祖であるアブラハムにならう者となったということです。

10節『人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。』

ルカの15章4節『あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。』

10月は私事ですが、12日に東京で同窓会があり、東京の同盟の世田谷中央教会に出席し、26日は息子が単身赴任でこの4月から広島に赴任していますので、創立142年の日本基督教団の被爆広島教会で礼拝を守らせていただきました。

息子も転勤族でなかなか一つの教会につながるできません。

私も東京時代十数年教会から離れていました。教会へ戻るきっかけは1980年の東京後樂園球場で開催されたビリーグラハム国際大会でした。

その時に創価学会の友人を誘い大会に出ました。なぜ彼を誘ったのかはわかりません。ただ彼の家族に自死した人がいることを聞かされていました。創価学会入信もそのことがきっかけだったのかも知れません。その後のことはわかりません。

わたしはその大会をきっかけに、世田谷中央教会に行くようになりました。ビリーグラハム大会委員長の安藤伸一先生の教会です。そこには妹夫婦も通っていました。

久しぶりに出席した礼拝で、何とも言えない安らぎを得たことを思い出します。

『ザアカイ、急いで降りて来なさい。』喜んで従う者とさせていただきます。

